

ふくい街角景気速報

(令和4年12月分)

調査期間 令和4年12月20日～27日 (回答率：92%)

概況

景気の現状判断DIは50.8となり、前月と比べ1.8ポイント上昇した。

景気の先行き判断DIは41.3となり、前月と比べ1.7ポイント低下した。

■景気の現状判断DI 50.8 (前月比 +1.8)

○家計動向関連では、前月に比べ 2.9 ポイント上昇した。

○企業動向関連では、前月に比べ 2.1 ポイント上昇した。

○雇用関連では、前月に比べ 2.1 ポイント低下した。

(意見の主な内容)

○一進一退で良くなっている実感はない。(百貨店、SC等)

○全国旅行支援の効果もあり、個人消費は対面型サービスを中心に持ち直している。一方で原材料を含め製造費が上昇し続ける中、製品への価格転嫁が追い付かないなど、中小零細企業は厳しい状況が続いている。(銀行等金融関連)

■景気の先行き判断DI 41.3 (前月比 ▲1.7)

○家計動向関連では、前月に比べ 0.8 ポイント低下した。

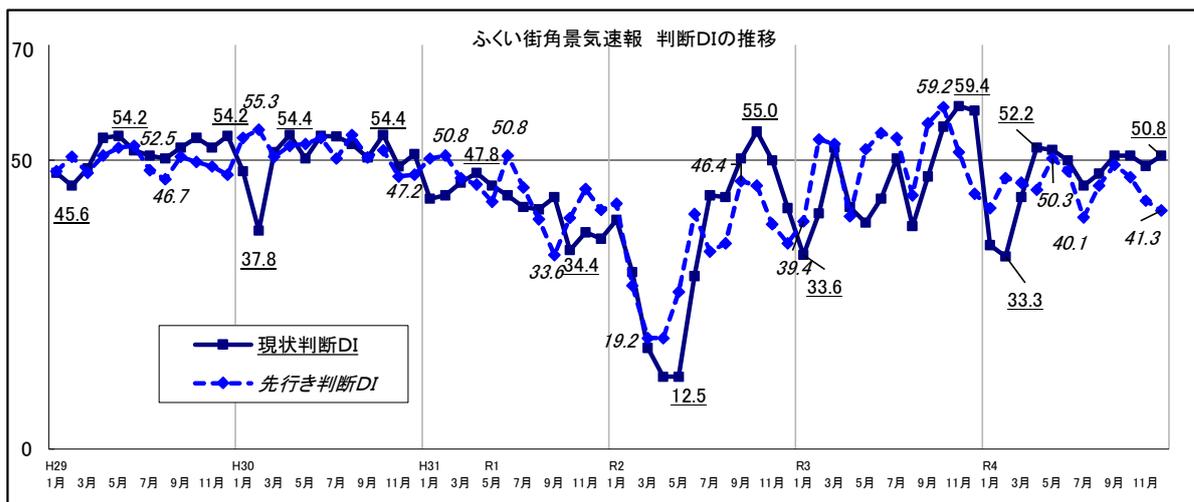
○企業動向関連では、前月に比べ 0.8 ポイント低下した。

○雇用関連では、前月に比べ 8.3 ポイント低下した。

(意見の主な内容)

○今後も物価が高くなり、物販(衣料・雑貨など)のさらなる苦戦が予測される。(百貨店、SC等)

○企業物価の高騰継続、特に電気代の値上げにより更なる悪化が懸念される。(繊維関連)



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
計		100	52	36	12

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
悪くなっている 変わらない 良くなっている

1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	R4 7	8	9	10	11	12	(前月差)
合計		45.6	47.7	50.8	50.8	49.0	50.8	+1.8
家計動向関連		43.9	45.9	53.7	53.1	51.0	53.9	+2.9
小売		39.1	40.3	48.3	46.2	45.3	47.4	+2.1
飲食		50.0	50.0	62.5	70.8	60.0	75.0	+15.0
サービス		54.2	58.3	63.6	65.0	62.5	61.4	▲1.1
企業動向関連		47.1	49.3	45.0	48.6	47.9	50.0	+2.1
製造業		46.2	47.0	46.0	49.0	48.1	53.0	+4.9
非製造業		50.0	55.0	42.5	47.5	47.5	42.5	▲5.0
雇用関連		47.9	50.0	56.3	47.7	43.8	41.7	▲2.1

○回答別構成比

	年 月	R4 7	8	9	10	11	12	(前月差)
良くなっている		1.0%	2.1%	3.2%	6.3%	7.2%	5.4%	▲1.8
やや良くなっている		25.0%	22.9%	22.3%	26.0%	16.5%	23.9%	+7.4
変わらない		35.4%	43.8%	51.1%	35.4%	43.3%	41.3%	▲2.0
やや悪くなっている		32.3%	26.0%	21.3%	29.2%	30.9%	27.2%	▲3.7
悪くなっている		6.3%	5.2%	2.1%	3.1%	2.1%	2.2%	+0.1

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	R4 7	8	9	10	11	12	(前月差)
合計		40.1	45.6	49.2	47.1	43.0	41.3	▲1.7
家計動向関連		38.8	44.4	51.6	49.0	40.8	40.0	▲0.8
小売		35.9	41.1	43.3	44.7	41.4	35.3	▲6.1
飲食		50.0	54.2	62.5	62.5	50.0	60.0	+10.0
サービス		41.7	47.9	68.2	55.0	35.4	43.2	+7.8
企業動向関連		42.9	47.1	45.7	44.4	44.4	43.6	▲0.8
製造業		43.3	46.0	45.0	43.3	45.2	43.0	▲2.2
非製造業		41.7	50.0	47.5	47.5	42.5	45.0	+2.5
雇用関連		37.5	45.8	50.0	47.7	47.9	39.6	▲8.3

○回答別構成比

	年 月	R4 7	8	9	10	11	12	(前月差)
良くなる		0.0%	1.0%	6.4%	2.1%	2.1%	2.2%	+0.1
やや良くなる		14.6%	18.8%	20.2%	18.8%	14.4%	8.7%	▲5.7
変わらない		40.6%	44.8%	42.6%	47.9%	45.4%	47.8%	+2.4
やや悪くなる		35.4%	32.3%	25.5%	28.1%	29.9%	34.8%	+4.9
悪くなる		9.4%	3.1%	5.3%	3.1%	8.2%	6.5%	▲1.7

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由	
①良くなっている	家計動向	福井	コンビニエンスストア	コロナ禍に対する景気対策キャンペーン効果の恩恵を享受している。	
		坂井	観光物産関係	旅行支援や行動規制がなく、商品の動きが良いため。	
②やや良くなっている	家計動向	福井	スーパー	経済活動がやや活発化してきており、消費意欲が高まってきている雰囲気がある。	
		福井	飲食関連	越前ガニの解禁したことと忘年会等でお客さんが増えている。	
		嶺南	観光関係	全国旅行支援が継続中で、宿泊全般で良い結果が出ている。	
	企業動向	坂井	一般機械関連	製造業の投資意欲が徐々に回復しているため。	
		丹南	伝統工芸関連	年末で注文があり、受注がある。	
	雇用	嶺南	学校就職担当者	以前に比べて企業の採用意欲が強く、売り手市場のため。	
③変わらない	家計動向	福井	百貨店、SC等	一進一退で良くなっている実感はない。	
		福井	百貨店、SC等	12月入ってから売上が伸びない。	
		嶺南	コンビニエンスストア	週末の流動ボリュームに変化なし。	
		福井	サービス業関連	受注及び売り上げの変化が見られない。	
	企業動向	坂井	繊維関連	良くなっている部分もあるが原料、仕入れ等の高騰もあり不安定要素もあるため。	
		奥越	繊維関連	受注量は改善するもののエネルギー中心のインフレの加速で相殺。	
		福井	一般機械関連	商談、受注は減少していないため。	
		福井	化学・プラスチック関連	経済社会活動が正常化に向かい景気持ち直しが期待されるが、原材料価格の高止まりなど引き続き厳しい状況が続く。	
		嶺南	商社	原料高騰による消費低迷。	
		福井	銀行等金融関連	全国旅行支援の効果もあり、個人消費は対面型サービスを中心に持ち直している。一方で原材料を含め製造費が上昇し続ける中、製品への価格転嫁が追い付かないなど、中小零細企業は厳しい状況が続いている。	
	雇用	福井	学校就職担当者	大きな状況の変化が見受けられない。	
	④やや悪くなっている	家計動向	嶺南	一般小売店	物価高が少し影響している。
			福井	百貨店、SC等	物価も高くなり、燃料等の高騰もあり、経費等が大きくなってきているため。
坂井			スーパー	売上は若干アップも、原価高に伴う値上げ要因が大きく、販売店数が伸びていない。	
嶺南			飲食関連	夜の団体飲み会予約もなく、第8波の影響を受けているため。	
企業動向		丹南	眼鏡関連	原材料やエネルギーの高騰に歯止めがかからない。	
		丹南	電気機械関連	中国経済の低迷がみられること等により、先行きの不透明感が強まっているため。	
雇用	丹南	労働相談員	整理解雇の相談が出て来ている。		
⑤悪くなっている	家計動向	嶺南	商店街	旅行支援クーポンで多少なりともお金が回っているだけに過ぎず、本来の消費活動には繋がっていない。	

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなる	家計動向	福井	観光関係	年明けも全国旅行支援継続が決まり、旅行需要が拡大すると思われるため。
②やや良くなる	家計動向	坂井	観光関係	全国旅行支援の継続とコロナ感染第8波も落ち着いていくと思われるため。
	企業動向	嶺南	化学・プラスチック関連	為替と原油価格がプラスに影響されると考えられるため。
③変わらない	家計動向	丹南	商店街	第8波の影響は大きくはないと思われるにも関わらず、来客数・売上ともに伸び悩んでいる。加えて来春の電気料金の値上げなど、これからの物価高を懸念して消費マインドは節約志向であるから。
		坂井	一般小売店	しばらくは物価高が続くと思うから。
		福井	百貨店、SC等	気温の低下によりやや回復するも、価格に対してシビアな状態は変わらないと考えられるため。
		福井	百貨店、SC等	今後も物価が高くなり、物販(衣料・雑貨など)のさらなる苦戦が予測される。
		福井	スーパー	コロナ感染者拡大の傾向、及び個人所得の伸び悩みによる消費の弱さ。
		福井	家電販売店	今まで悪かった分、少し改善した状態が続くと思う。
	企業動向	福井	眼鏡関連	ここ数年来1～2月の売り上げは好調だが、天候次第である。
		福井	化学・プラスチック関連	資源価格の上昇や円安による物価上昇が消費者マインドを低下させ、引き続き市況に明るい見通しは見られないと思われる。
		嶺南	食料品製造関連	年末年始、コロナ感染で消費者の動きが自粛されると思われる。
		丹南	食料品製造関連	売り上げは伸びているが、原料、資材、電気料などの諸経費が増えているので利益は圧迫している。
		福井	銀行等金融関連	3年ぶりに行動制限のない年末年始を迎え、全国旅行支援延長による経済対策の効果に期待したい。一方で原材料やエネルギー価格の高騰、海外経済の減速、物価高騰による消費者への影響など懸念材料がある。
	福井	運輸関連	物価高等で原価がアップしているが、競争激化で価格転嫁が困難である。	
	雇用	嶺南	ジョブカフェ担当者	例年の動きで、12月中旬から1月にかけて求人が増えるため、新年度へ向けての求職の動きも出てくると予想される。
④やや悪くなる	家計動向	福井	一般小売店	大雪天候で、来店客数が減少するのではないかと予想する。
		福井	百貨店、SC等	電気代の値上げや物価高騰の影響。
		丹南	百貨店、SC等	物価高、電気料金の値上げ、円相場の状況などから良くなる要素がないため。
		坂井	観光物産関係	現在、コロナ陽性者が増えて来ており、年末年始の帰省で今以上に増えると思うため。
		福井	サービス業関連	物価の高騰や増税の動き等の影響で良くなる材料が見当たらないため。
		福井	観光関係	感染状況が不透明であり分からない面があるが、通常は閑散期のため、天候次第ではあるが人の流れは少し減ってくる。
	企業動向	丹南	繊維関連	企業物価の高騰継続、特に電気代の値上げにより更なる悪化が懸念される。
		丹南	建設・不動産関連	値上げの影響により、消費が落ち込む可能性がある。
	雇用	福井	学校就職担当者	電力の値上げが、企業にも家計にも直撃しそうである。
⑤悪くなる	家計動向	坂井	観光関係	新幹線開業1年前に当たり福井への旅行は控えめとなると予想される。
	企業動向	福井	建設・不動産関連	良くなる要素がない。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		52
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	5
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		12
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	3
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問 1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問 2】

質問 1 でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

【質問 3】

将来の景気についての質問です。今後 2～3 か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問 4】

質問 3 でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部産業政策課経済戦略グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)